

## \*\*\*\*\* メリークリスマス 2011年 \*\*\*\*\*

今年もこの一年にあったことを報告いたします。



年明け早々、モルディブに行きました。スキューバダイバーにとっては、あこがれの場所の一つです。スリランカのコロンボを経由して行くインド洋にある常夏の島国です。さすがに、力がある海で、ダイビングを満喫しました。モルディブは一周10分の小さな島で、宿も食事つきが1件だけ、周りの島にもチャーターの船でないといけないようなところで、買い物をするところも、テレビもありません。です



から、ダイブができない由紀子は毎日ボーっとして過ごしました。海に突き出たバンガローにはスパがあり、そこでバリニーズマッサージをしてもらったり、お茶を飲んだりで、常夏の島に行ったとは思えないほど、まったく日焼けもしませんでした。景色は素晴らしくひたすら何もしない時間を満喫したのでした。

一味はパデュー大での仕事が平常運転に戻り、授業を行っていました。二月には二週間ほど由紀子が手首の手術をするためにやってきました。手術はうまくいき、それまでの痛みは取れました。三月十一日はちょうど春休み中だったので、テレビにはり付いていた一週間でした。この後、アメリカの大学も義援金を募る活動や震災の状況を知らせる活動などで騒がしくなりました。震災で直接という分けではなかったのですが、知り合いが亡くなったという知らせも入りました。春学期が終わった五月に帰国したおりに、友人の吉田さんをお願いして、彼の友人を通して仙台の海岸付近を案内してもらいました。ほんの一日過ごしたのですが、テレビや写真では決して伝えられない被災地の広さや匂いを目の当たりにすることが出来ました。どんな理由でもかまわないので、なるべくたくさんの人に行ってくださいというメッセージを出し続けています。ちょっと後先しますが、三月の終わりには学会で



落語の活動に関する発表をするために、ハワイに行ったおりに、ミドルベリーの同僚達を体験ダイビングに連れて行くという企画が実現しました。みんな、楽しんでくれました。(と私は思っています。KH) 四月には授業の一環として、シカゴから増岡さんという広島の前爆被爆者の方をお招きし、お話をお願いしました。六月からは例年通り日本語学校の校長の仕事なのですが、今年は



バーモントではなく、はじめてカリフォルニア州オークランド市にあるミルズ大学のキャンパスで日本語学校を開催しました。(三年前から、バーモントのキャンパスが狭くなってきたので、外国語学校の一部がミルズ大学で行われるようになりました。) 慣れないキャンパスでの学校運営で色々不便なことや失敗もありましたが、北カリフォルニアは気候的にはとても楽なこと、日本文化が地元で根ざしていることなどバーモントにはない有利な点もありました。落語週間も例年通り行

い、落語会には地元の方も100名ほどいらっしやってくださいました。(由紀子の同級生の宗田夫妻にお世話になりました。) 日本語学校は2012年ももう一度ミルズ大学に戻ってくることになりました。11月のACTFLという学会はデンバーであり、仲間と食事に出ましたが、デンバーは日系人が多く住んでいて日本食のレベルも高かったです。

由紀子は1月と2月は学生の修士論文の指導や入試でばたばたし、その後、またアメリカの学会に勉強に行きました。3月は津波と地震の記憶しかありません。広島は全く影響はありませんでしたが、3月4月の東京はゴースタウン、揺れも頻繁にあり長く続いて、いまさらながら震災の大きさを感じさせるものでした。それでも、生きている自分たちはとても幸運で、仙台にボランティアに行ったときのショックは、今でも口にできません。計画停電や節電の時期が過ぎ関東以南は平常に戻ったように思いますが、被災地が復興するには、まだまだ長い時間がかかりそうです。

大学の方は、4月になってから講座の副主任になり、総務部会に入ったため、高校生ガイダンス、高校への出張授業、学部生の就職ガイダンスなど、アイオワ時代にはよくあった仕事をしました。久しぶりでしたし、高校に出向いたりするのも珍しく、それなりに楽しんでやりました。5月に左大腿部前面に熱湯がかかり大やけどをしてしまいました。幸い今はあまり目立たなくなっていますが、しばらくは膝が見える服が着られない状態でした。7月はミドルベリー、8月は天津、そして、9月はパデューに行き、10月からは広大でめっちゃめっちゃ忙しい毎日を送っています。10月初めには、珍しく、ストレスで3日間具合が悪くなりましたが、その後、リカバーして猛烈に食べてしまいました。ちょうど学会で鳥取に行っていて海鮮系がおいしかったことが追い風になった

ようです。先日人間ドックでは去年より体重が増えていて、これからダイエットです。今年も胃カメラをしたら、また組織を取られ、胃に潰瘍の痕跡がたくさんあると言われました。同僚にその話をしたら、ひょっとしたら、子供の背や年輪のように、いつの傷かわかるようになっているんじゃないかと言われました。もしそうだったら、自分の人生の軌跡を胃カメラを通してみられるかもしれないし、どうせ傷があるならそれも悪くないなと思います。

今年は広大内での博士論文の指導も増え、4名が最終段階、修士論文が6名、26人の博論、修論の副指導に入っているの、後期は、毎日学生の論文と格闘しています。年内は、新任教員の公募、院生の審査、自分の遅れた論文などで時間がつぶれるので、さすがに最近自分の勉強時間が著しく減り、かなり焦っています。しかし、学生もそれなりに理解してくれ、遠慮してくれるので、悪いなと思いつつも助かっています。広大に来て一番よかったことはやはり人間関係には恵まれているということです。仕事が大変でも、周りの人に恵まれていれば、それなりに楽しくやっていると、最近つくづく感じます。



チビタンとミータローは今年もいたって元気です。一味はバスケットボールを続けています。年末は例年どおり東京に戻り、ミドルベリー夏学校の同窓会も同時期に行う予定です。そして、国内温泉旅行を予定しています。

2012年が皆様にとっていい年になりますようお祈りしています。また一年よろしく願いいたします。

一味 & 由紀子

\*\*\*\*\* 頌春 2012年 卯年\*\*\*\*\*